

ISO/TC 8/SC 3(配管及び機械分科委員会)担当分

議長: Mr. Woon-ho LEE (韓国, Korean Register of Shipping (KR))、幹事国 (米国 (ANSI))

担当	規格番号	標題	標題 (邦訳)	概 要	制定等年月日	JIS化の状況
SC 3	ISO 484-1:2015	Shipbuilding -- Ship screw propellers -- Manufacturing tolerances -- Part 1: Propellers of diameter greater than 2.50 m	造船－船用プロペラ－製作許容差－第1部: 直径2.50mを超えるプロペラ	直径2.50mを超える一体型、組立式及び可変ピッチプロペラに適用する種々の公差を定義し、またピッチ、断面の厚さを計測する方法を記述し、精度等級を提供するもの。	2015.12.01	—
SC3	ISO/CD 484-1	Shipbuilding -- Ship screw propellers -- Manufacturing tolerances -- Part 1: Propellers of diameter greater than 2.50 m	造船－船用プロペラ－製作許容差－第1部: 直径2.50mを超えるプロペラ	【今回の改訂点】 以下の点の軽微な修正 ・序文の改訂 ・編集上の修正 (図のキーの手直し、参考文献の更新、スペルミス、...) ・図表を現在の標準的な慣行にそって更新	CD照会終了 2024.12.28	—
SC 3	ISO 484-2:2015	Shipbuilding -- Ship screw propellers -- Manufacturing tolerances -- Part 2: Propellers of diameter between 0.80 and 2.50 m inclusive	造船－船用プロペラ－製作許容差－第2部: 直径0.80m以上2.50m以下のプロペラ	直径0.80m以上2.50m以下の一体型、組立式及び可変ピッチプロペラに適用する種々の公差を定義し、またピッチ、断面の厚さを計測する方法を記述し、精度等級を提供するもの。	2015.12.01	—
SC3	ISO/CD 484-2	Shipbuilding -- Ship screw propellers -- Manufacturing tolerances -- Part 2: Propellers of diameter between 0.80 and 2.50 m inclusive	造船－船用プロペラ－製作許容差－第2部: 直径0.80m以上2.50m以下のプロペラ	【今回の改訂点】 以下の点の軽微な修正 ・序文の改訂 ・編集上の修正 (図のキーの手直し、参考文献の更新、スペルミス、...) ・図表を現在の標準的な慣行にそって更新 ・公差値の変更	CD照会終了 2024.12.28	—
SC 3	ISO 2412:1982	Shipbuilding -- Colours of indicator lights	造船－表示器の灯火の色	船内のコントロールパネルや計器、設備の表示灯の色の標準について取り纏めたもの。	1982.11.15.	JIS F 0412:1998 (MOD)
SC 3	ISO 3715-1:2002	Ships and marine technology -- Propulsion plants for ships -- Part 1: Vocabulary for geometry of propellers	船舶及び海洋技術－船舶の推進装置－第1部: プロペラの形状に関する用語	船舶、移動式海底資源掘削ユニット等の推進装置に使用されるスクリュープロペラに関する用語及び定義を適用するもの。プロペラの流体力学的効果を発生する部分のみを対象としており、ハブの機械構造に関するものは含まれていない。	2002.03.01.	JIS F 0024:1998 (NEQ)
SC3	ISO/CD 3715-1	Ships and marine technology -- Propulsion plants for ships -- Part 1: Vocabulary for geometry of propellers	船舶及び海洋技術－船舶の推進装置－第1部: プロペラの形状に関する用語	【今回の改訂点】【ドイツ主導】 ・編集上の修正 (図表のキーを手直した。図、参考文献の更新、スペルミス、...) ・図表および各章の定義用語; 現在の標準的な慣行に更新	CD照会終了 2024.12.31	—
SC 3	ISO 3715-2:2001	Ships and marine technology -- Propulsion plants for ships -- Part 2: Vocabulary for controllable-pitch propeller plants	船舶及び海洋技術－船舶用の推進設備－第2部: 可変ピッチプロペラ装置に関する用語	連続可変及び油圧駆動の可変ピッチプロペラ装置を対象とした用語及び定義を提供するもの。	2001.08.01.	同上
SC 3	ISO 5483:2023	Ships and marine technology -- Drain facilities from oil and water tanks	船舶及び海洋技術－油タンク及び水タンクからの排水設備	油タンク及び水タンクの底部に設ける溶接環及び排水ブラグの寸法及び材料について取り纏めたもの。 2003年版の改訂。主な改訂点は以下のとおり。【中国主導】 ・プレートの厚さが38mm未満のType Aの追加 ・Type Bの補足として一般的に用いられているType Cの追加 ・ジャッキアッププラットフォームで用いられているType Dの追加	2023.08	—
SC 3	ISO 5620-1:1992	Shipbuilding and marine structures -- Filling connection for drinking water tanks -- Part 1: General requirements	造船及び海洋構造物－飲料水タンクの注水口－第1部: 一般要求事項	他船又は陸上の配水系統からの配管を取り付ける船上の飲料水注水口についての一般的要求事項、構成及び故障の標準について取り纏めたもの。	1992.12.01.	—

SC 3	ISO 5620-2:1992	Shipbuilding and marine structures -- Filling connection for drinking water tanks -- Part 2: Components	造船及び海洋構造物－飲料水タンクの注水口－第2部：構成部品	他船又は陸上の配水系統からの配管を取り付ける船上の飲料水注水口構成部品についての技術的な詳細仕様を取り纏めたもの。	1992.12.01.	－
SC 3	ISO 5621:1984	Shipbuilding -- Bilge mud boxes for machinery spaces and tunnels -- General design characteristics	造船－機械室及び軸室ビルジ用マッドボックス－設計の一般特性	船舶の機械室及び軸室内でポンプとビルジ吸入口との間に使用するマッドボックスの設計の一般特性について取り纏めたもの。なお、マッドボックスの寸法及び材料については記述していない。	1984.12.01.	JIS F 7203:1998 (MOD)
SC 3	ISO 5625:1978	Shipbuilding -- Welded bulkhead pieces with flanges for steel pipework -- PN 6, PN 10 and PN 16	造船－鋼管用フランジ付き溶接隔壁貫通金物－PN6、PN10及びPN16	造船に使用されるフランジ付隔壁貫通金物の主要寸法を提供するもの。溶接により組み立てる金物でISO 2084(圧力等級PN6、PN10及びPN16)に従ったフランジと併せて使用することを前提としたもの。	1978.07.01.	－
SC 3	ISO 6454:1984	Shipbuilding -- Strum boxes	造船－ローズボックス	ビルジ吸引管の端末に設けて管が固形物でつまらないようにするローズボックスの主要寸法について取り纏めたもの。	1984.12.01.	JIS F 7206:1998 (MOD)
SC 3	ISO 7547:2022	Ships and marine technology -- Air-conditioning and ventilation of accommodation spaces and other enclosed compartments on board ships -- Design conditions and basis of calculations	船舶及び海洋技術－船の居住区及びその他の密閉空間の空調及び通風－設計条件及び計算基準	国際航海に従事する商船の居住区及びその他の密閉区間の空調及び通風のための設計条件と適切な計算方法について取り纏めたもの。なお、外気条件としては極端な提案又は高温・湿度以外のすべての条件としている。 以下の反映を目的とした2002年版を改訂したもの【中国と米国の合同主導】。 －2008年発行の正誤票の反映 －船内換気に関する要件について、ISO 8862、ISO 8863、ISO 8864、ISO 9099及びISO 9943との整合化(統合)。	2022.04	同上
SC 3	ISO 8277:2013	Ships and marine technology -- Pipework and machinery -- Information transfer	船舶及び海洋技術－配管及び機械－情報伝達	配管関係のプレファブリケーション及び組立並びに設計部門から現場への伝達に関し最低限必要なデータについて取り纏めたもの。【日本主導】	2013.06.01	－
SC 3	ISO 8861:1998	Shipbuilding -- Engine-room ventilation in diesel-engined ships -- Design requirements and basis of calculations	造船－ディーゼル船における機関室通風－設計条件及び計算基準	あらゆる水域を通常航行するディーゼル推進商船の機関室の通風に関する設計要件及び通風量算出方法について取り纏めたもの。	1998.05.15.	JIS F 0407:1998 (IDT)
SC 3	ISO 9785:2002	Ships and marine technology -- Ventilation of cargo spaces where vehicles with internal combustion engines are driven -- Calculation of theoretical total airflow required	船舶及び海洋技術－内燃機関を有する車両が運転される貨物区画の換気－理論的総通風量の計算方法	内燃機関を有する車両が走行する船の貨物区画における汚染された空気を許容水準まで希釈するために必要な外気量の理論値をを計算する方法について取り纏めたもの。IMOで作成されたMSC/Circ.729"Guideleine and Recommendations for Ventilation systems in RO-RO Cargo Spaces"も併せて参照のこと。	2002.07.15.	－
SC 3	ISO 9943:2009	Shipbuilding -- Ventilation and air-treatment of galleys and pantries with cooking appliances	造船－調理器具を備えたギャレー及びパントリーの通風及び空気処理	外洋を航行する商船のギャレー及びパントリー(コーヒーマーカー、料理保温用ホットプレート、電気湯沸し器等小容量の消費電力のもの以上に電力を消費する調理器具を備えるもの)の通風及び空気処理のための設計条件及び一般的留意事項を取り纏めたもの。	2009.05.15.	－
SC 3	ISO 11326:2024	Ships and marine technology -- Test procedures for liquid hydrogen storage tank of hydrogen ships	船舶及び海洋技術－液化水素船の液化水素貯留タンクの試験手順	水素運搬船に搭載される液体水素貨物タンク(容量 1,000 m ³ 以下の真空断熱金属二重壁独立型タンク C 型)の一般的な検査および試験要件を取り纏めたもの。【韓国主導】	2024.11	－
SC 3	ISO 13613:2011	Ships and marine technology -- Maintenance and testing to reduce losses in critical systems for propulsion	船舶及び海洋技術－重要な推進システムの喪失を低減するための保守及び試験	最近の調査結果では、2003～2007年におけるSOLAS適用船の海難のうち、多くのものが主機の空気起動装置の不具合、燃料油の質の問題、燃料の切替が関与していることが判明した。これらの推進力喪失海難を低減するため、船舶の推進力喪失に関係する特定のシステムに関する保守およびチェックに影響を及ぼす要因について検討する必要性を乗員その他関係者に情報提供するために取り纏めたもの。	2011.12.01.	－
SC 3	ISO 14726:2008	Ships and marine technology -- Identification colours for the content of piping systems	船舶及び海洋技術－配管系統の識別色	船舶及び海洋構造物上の配管について、その内容物と機能に応じた識別を行うための色について取り纏めたもの。	2008.05.01.	－

SC 3	ISO 15364:2021	Ships and marine technology -- Pressure/vacuum valves for cargo tanks and devices to prevent the passage of flame into cargo tanks	船舶及び海洋技術－貨物タンク用PV弁及び貨物タンクへの火炎侵入防止装置	タンカーの貨物タンクに設置されるPV弁の性能及び試験に関する最低要求事項および火炎侵入防止装置(DPPF)の要件を取り纏めたもの。特に材料の選定、内面仕上げ、表面に重点を置いたもの。 2016年版と比べ、火炎侵入防止装置(DPPF)の要件が追加された。	2021.02	—
SC 3	ISO 15540:2016	Ships and marine technology -- Fire resistance of hose assemblies -- Test methods	船舶及び海洋技術－ホースアセンブリの耐火性－試験方法	呼び径150mm以下の非金属性ホースアセンブリの耐火性を評価するための試験方法を取り纏めたもの。	2016.07.15	—
SC 3	ISO 15541:2016	Ships and marine technology -- Fire resistance of hose assemblies -- Requirements for the test bench	船舶及び海洋技術－ホースアセンブリの耐火性－試験装置の要求事項	ISO15540:2016で定める、呼び径が150mm以下の非金属性ホースアセンブリの耐火性評価に使用する試験装置の要求事項を取り纏めたもの。	2016.07.15	—
SC 3	ISO 15748-1:2002	Ships and marine technology -- Potable water supply on ships and marine structures -- Part 1: Planning and design	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物用飲料水供給装置－第1部：計画及び設計	船舶、海洋構造物及び内陸航行船用の飲料水供給装置について、飲料水を保護しその品質を維持するために必要な最低限の要求事項について取り纏めたもの。	2002.05.01.	—
SC 3	ISO 15748-2:2002	Ships and marine technology -- Potable water supply on ships and marine structures -- Part 2: Method of calculation	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物用飲料水供給装置－第2部：計算方法	船舶、海洋構造物及び内陸航行船用の飲料水供給装置に関し、搭載すべき飲料水の量、圧力容器及び水加熱器の容量、ポンプ能力などを決定するための計算方法について取り纏めたもの。	2002.05.01.	—
SC 3	ISO 15749-1:2004	Ships and marine technology -- Drainage systems on ships and marine structures -- Part 1: Sanitary drainage-system design	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物の排水装置－第1部：衛生排水装置の設計	船舶及び海洋構造物の居住区域及び糧食区域からの廃水を排出する装置(衛生排水装置)の計画及び設計に関し、基本的な事項を取り纏めたもの。ISO 15749-2～ ISO 15749-4と合わせて適用する。	2004.05.01.	—
SC 3	ISO 15749-2:2004	Ships and marine technology -- Drainage systems on ships and marine structures -- Part 2: Sanitary drainage, drain piping for gravity systems	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物の排水システム－第2部：重力方式の衛生排水及び排水配管	重力排水方式の衛生排水管系の設計に適用するもの。計画及び基本的要求事項について、ISO 15749-1参照。	2004.05.01.	—
SC 3	ISO 15749-3:2004	Ships and marine technology -- Drainage systems on ships and marine structures -- Part 3: Sanitary drainage, drain piping for vacuum systems	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物の排水システム－第3部：バキューム方式の衛生排水及び排水配管	バキューム式の衛生排水管系装置におけるサニタリ排水管の設計に適用するもの。計画及び基本的要求事項について、ISO 15749-1参照。	2004.05.01.	—
SC 3	ISO 15749-4:2004	Ships and marine technology -- Drainage systems on ships and marine structures -- Part 4: Sanitary drainage, sewage disposal pipes	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物の排水システム－第4部：衛生排水、ふん尿処理管系	衛生配管系のふん尿処理管系の設計に適用するもの。計画及び基本的要求事項について、ISO 15749-1参照。	2004.06.15.	—
SC 3	ISO 15749-5:2004	Ships and marine technology -- Drainage systems on ships and marine structures -- Part 5: Drainage of decks, cargo spaces and swimming pools	船舶及び海洋技術－船舶及び海洋構造物の排水システム－第5部：甲板区域、貨物区域及びスイミングプールの排水	風雨密甲板、非水密区域、Ro/Ro区域、貨物区域、スイミングプールの風雨密甲板及び非風雨密甲板からのグレー・ウォーターの重力式排水管系の計画及び設計に関し必要な事項を取り纏めたもの。	2004.05.01.	—
SC 3	ISO 15837:2004	Ships and marine technology -- Gasketed mechanical couplings for use in piping systems -- Performance specification	船舶及び海洋技術－管系に使用するガスケット付き機械式継手－性能要求事項	ガスケット付き機械式継手の性能特性及び品質試験について取り纏めたもの。	2004.04.01.	—

SC 3	ISO 15838:2003	Ships and marine technology -- Fittings for use with gasketed mechanical couplings used in piping applications -- Performance specification	船舶及び海洋技術－管系に使用するガスケット付き機械式継手付加物－性能仕様	ISO15837に適合するガスケット付き機械式継手付加物の分類、材料、検査要求事項、表示及び包装について取り纏めたもの。	2003.11.01.	—
SC 3	ISO 15840:2004	Ships and marine technology -- Standard specification for thermosetting resin fibreglass pipe and fittings to be used for marine applications	船舶及び海洋技術－海洋用熱硬化性FRP管及び取付物の標準仕様	海洋関係で使用する船舶用配管装置において使用される呼び径 (DN)0～1200mm及び呼び管寸法 (NPS)0～48までの強化熱硬化性樹脂管系の分類、性能要求事項、試験方法等の標準仕様を取り纏めたもの。	2004.04.01.	—
SC 3	ISO 17579	Ships and marine technology- Design and testing requirements of pneumatic quick-closing valves	船舶及び海洋技術－空気式緊急遮断弁の設計及び試験要件	海洋空気式緊急遮断弁の圧力及び気温、設計要件 (構造及び材料を含む)、試験方法及びマーキングを取り纏める。この文書は、呼び径がDN250以下の空気式緊急遮断弁の設計、製造、合格検査及び運用に適用することができる。【中国主導】 日本は、WD照会において、国内製造者からの要望によりJIS F 7399 (船用油タンク非常遮断弁) との整合を求める意見を提出し、概ね反映した。このため、CD照会では、一部の編集的意見のみ提出した。 日本は、DIS投票では、CD照会で提出した意見が反映されたことを受け、「賛成 (意見無し)」で回答した。このDIS投票の結果は、ISO/TC 8/SC 3/WG 19上海会議で審議され、参考文献から既に存在しないJIS F規格を削除する等、内容の是正が行われた。	FDIS承認 2025.02.19 近日制定見込み	—
SC 3	ISO 17602:2014	Ships and marine technology -- Metal valves for use in flanged pipe - - Face to face and centre to face dimensions	船舶及び海洋技術－フランジ管用金属製弁－面間寸法	フランジ管系に使用する船用金属製弁の面間寸法について取り纏めたもの。ISO 7005-1:2011、ISO 7005-2:1988及びISO7005-3:1988に適合するフランジに使用されるものに適用できる。【日本主導】	2014.04.15	—
SC 3	ISO 18139:2017	Ships and marine technology -- Globe valves for use in low temperature applications -- Design and testing requirements	船舶及び海洋技術－低温用玉形弁－設計及び試験要求事項	極低温環境における低温用玉形弁の耐漏えい性を高品質で確保するための設計、製造、試験方法の要件について取り纏めたもの。【韓国主導】	2017.02.01	—
SC 3	ISO 18154:2017	Ships and marine technology -- Pilot operated safety valves for low temperature applications -- Design requirements	船舶及び海洋技術－低温用パイロット作動式安全弁－設計要求事項	LNG船のカーゴタンクに使用されるダイヤフラム式パイロット形安全弁の圧力を保持するための設計、試験及び検査方法について取り纏めたもの。【韓国主導】	2017.03	—
SC 3	ISO 18215:2015	Ships and marine technology -- Vessel machinery operations in polar waters -- Guidelines	船舶及び海洋技術－極海域における船用機械類の操作－指針	極海域の環境の中で船舶運航前及び運航中に機械類について配慮すべき重要事項について設計及び操作要員 (乗員) に係る指針を取り纏めるもの。 IMO Code for Ships Operating in Polar Waters及びIACS UR "I", Requirements Concerning Polar Classを補完するもの。	2015.05.01	—
SC 3	ISO 18770:2005	Ships and marine technology -- Machinery-space flammable oil systems -- Prevention of leakage of flammable oil	船舶及び海洋技術－機関区域の可燃性油装置－漏油による火災防止	期間区域可燃性油装置からの可燃性油の漏えいが発火源となる火災を防止するために必要な取るべき対策について取り纏めたもの。	2005.09.01.	JJIS F 7100:2005 (IDT)
SC 3	ISO 19037:2019	Ships and marine technology－Gate valves for use in low temperature applications－Design and testing requirements	船舶及び海洋技術－低温環境用仕切弁－設計及び試験要件	本規格は、極低温環境 (－50℃～－196℃) における品質の高い耐漏性を低温環境用仕切弁に施すための設計、製造、試験方法を取り纏めたもの。【韓国主導】	2019.06	—
SC 3	ISO 19921:2005	Ships and marine technology -- Fire resistance of metallic pipe components with resilient and elastomeric seals -- Test methods	船舶及び海洋技術－弾力性及びエラストマーシールを備えた金属配管部品の耐火性－試験方法	本規格は、弾力性またはエラストマーシールを含み、船舶工学システムで用いられる金属弁、配管継手、および同様の配管部品の耐火性を決定するための試験手順を取り纏めたもの。 本規格の目的は、ISO19922の要件を満たす試験台での火災試験の後、パイプライン構成要素がしっかりとおり、耐圧にさらされてもその機能に影響を与える可能性のある故障がないかどうかを判断するためとする。	2005.10.01	—

SC 3	ISO 19922:2005	Ships and marine technology — Fire resistance of metallic pipe components with resilient and elastomeric seals — Requirements imposed on the test bench	船舶及び海洋技術－弾力性及びエラストマーシールを備えた金属配管部品の耐火性－試験台に要求される要件	本規格は、ISO19921に基づく試験によって、弾性またはエラストマー材料を含む金属パイプライン部品の耐火性を決定するための試験台の要件を取り纏めたもの。	2005.10.01	—
SC 3	ISO 20602:2019	Ships and marine technology — Check valves for use in low temperature applications — Design and testing requirements	船舶及び海洋技術－低温環境用逆止弁－設計及び試験要件	本規格は、極低温環境（－50℃～－196℃）における品質の高い耐漏性を低温環境用逆止弁に施すための設計、製造、試験方法を取り纏めたもの。【韓国主導】	2019.05	—
SC 3	ISO 20602:2019/Amd1:2021	Ships and marine technology — Check valves for use in low temperature applications — Design and testing requirements -- Amendment 1	船舶及び海洋技術－低温環境用逆止弁－設計及び試験要件（追補1）	ISO20602:2019からの修正点は以下のとおり。【韓国主導】 ・Table 5の誤記1箇所を修正。 ・8.8.2.1 e)の誤記を修正。 ・8.8.2.2.2 b)の誤記を修正。	2021.12	—
SC 3	ISO 21157:2018	Ships and marine technology — Ball valves for use in low temperature applications — Design and testing requirements	船舶及び海洋技術－低温環境用ボール弁－設計及び試験要件	本規格は、極低温環境（－50℃～－196℃）における品質の高い耐漏性を低温環境用ボール弁に施すための設計、製造、試験方法を取り纏めたもの。【中国主導】	2018.11	—
SC 3	ISO 21159:2018	Ships and marine technology — Butterfly valves for use in low temperature applications — Design and testing requirements	船舶及び海洋技術－低温環境用バタフライ弁－設計及び試験要件	本規格は、極低温環境（－50℃～－196℃）における品質の高い耐漏性を低温環境用バタフライ弁に施すための設計、製造、試験方法を取り纏めたもの。【中国主導】	2018.11	—
SC 3	ISO/CD 21341	Ships and marine technology — Test procedures for liquid hydrogen valve of hydrogen ships	船舶及び海洋技術 — 水素船の液体水素用弁の試験手順	本規格は、現在の水素技術を参考にして、ボール弁、バタフライ弁、チェック弁、グローブ弁、ゲート弁などの液体水素用弁の試験を実施するために必要な情報とガイダンスを取り纏めたもの。 また、本規格は、水素の主な特性と危険性の分析に基づいており、これらはその操作方法および材料とコンポーネントのテスト方法に影響を与える。 更に、本規格は、船舶上の液体水素バルブの機械的特性を確認するために実施する安全性および性能試験の試験手順と要件についても取り纏めている。 【韓国主導】	CD照会終了 2024.10.10 〆切	
SC 3	ISO 21562:2020	Ships and marine technology — Bunker fuel mass flow meters — Requirements	船舶及び海洋技術－パンカー重油質量流量計－要件	パンカー重油を受け入れる際に、船舶側に設置する質量流量計の性能基準、試験方法、認証について取り纏めたもの。【シンガポール及び米国主導】	2020.07	—
SC 3	ISO 22547:2021	Ships and marine technology -- Performance test procedure for high-pressure pump in LNG Fuel Gas Supply Systems (FGSS)	船舶及び海洋技術－LNG燃料ガス供給システム (FGSS)における高圧ポンプの性能試験手順	船舶の燃料ガス供給システム (FGSS)へLNGを移送するための電気モーターにより稼動する補機に備えられる往復ポンプ等機器の性能確認のための試験手順を提案している。【韓国主導】 2024年9月開催のTC 8総会で作成された決議により、このプロジェクトはTC 8/SC 25からTC 8/SC 3へ移管された。	2021.05	—
SC 3	ISO 22548:2021	Ships and marine technology -- Performance Test Procedure of Ship's LNG Fuel Gas Supply Systems (FGSS)	船舶及び海洋技術－船舶のLNG燃料ガス供給システム (FGSS)の性能試験手順	LNG燃料船の往復動内燃機関へのLNG燃料供給のために製造されるFGSSに関する圧力、流量、気温等の性能試験方法を提案している。【韓国主導】 2024年9月開催のTC 8総会で作成された決議により、このプロジェクトはTC 8/SC 25からTC 8/SC 3へ移管された。	2021.06	—
SC 3	ISO 23055:2020	Ships and marine technology -- International ballast water shore connection flange -- Design requirements	国際バラスト水船岸接続フランジ -- 設計要件	船舶と港湾の受入施設又は船舶間同士におけるバラスト水の移送に使われるフランジの設計の材料要件及び寸法を取り纏めたもの。【米国主導】	2020.01	—

SC 3	ISO 23212:2021	Ships and marine technology -- Flange connection for fuel and lubrication oil bunkering -- Basic dimensions and technical requirements	船舶及び海洋技術－燃料及び潤滑油の補油のためのフランジコネクション－基本寸法及び技術要件	燃料及び潤滑油を補油するためのフランジ型継手の適合寸法、特性、技術使用の要件について纏めたもの。【中国主導】	2021.03	—
SC 3	ISO/CD 23397	Ships and marine technology — Ammonia fuel systems for ships — Vocabulary	船舶及び海洋技術－船舶用アンモニア燃料システム－用語	国際海事機関(IMO)の貨物運送小委員会(CCC)によって策定された「燃料としてアンモニアを使用する船舶のためのガイドライン」に従って、船舶のアンモニア燃料システムに関連する標準化された用語を定義する。この文書は、さまざまな船種の燃料としてのアンモニアの使用に適用されるが、貨物としてアンモニアを輸送する船舶には適用されない。【韓国主導】	CD照会中 2025.04.11 〻切	—
SC 3	ISO 24224:2022	Ships and marine technology -- Tanker cargo manifold shore connection -- Technical requirements	船舶及び海洋技術－タンカー貨物マニホールドショアコネクション－技術要件	貨物マニホールドショアコネクションのタイプ、構造、寸法および技術的要求事項を取り纏めたもの。石油タンカーまたはケミカルタンカーの配管マニホールドの貨物/バンカーおよびベーパーラインの陸上接続に適用される。【中国主導】	2022.08	—
SC 3	ISO 24225:2022	Ships and marine technology -- Marine pneumatic quick-closing devices	船舶及び海洋技術－船舶用空気式急閉制御装置	船舶用空気式急閉制御装置(以下、空気式急閉装置)の用語と定義、設計、性能、試験と検査、マーキング、包装、取扱いと保管に関する要件を取り纏めたもの。この規格は、船舶用クイッククローズ装置の設計、製造及び承認に適用される【中国主導】。	2022.06	—
SC 3	ISO/CD 24941	Ships and marine technology — Piping and machinery — Safety guidelines for engine rooms of ammonia fuelled vessels	船舶及び海洋技術－配管及び機械－アンモニア燃料船の機関室の安全ガイドライン	国際海事機関(IMO)の小委員会である貨物・コンテナ輸送委員会(CCC)が作成した「アンモニアを燃料とする船舶のためのガイドライン」に従い、アンモニア燃料船の機関室(燃料格納容器を除く)及びアンモニア燃料システムに関連する燃料消費器の安全ガイドラインを取りまとめたもの。この文書は、アンモニアを燃料とする船舶への適用に重点を置いているが、アンモニア運搬船には適用されない。【韓国主導】 日本は、NP投票において、「賛成(意見あり)」で回答したうえで、アンモニア燃料船のガイドラインは現在IMOで作成中であることから、これと齟齬がないようにすべき等の意見を提出。このNP投票の結果は、2024年6月開催のISO/TC 8/SC 3/WG 19上海会議で審議され、IMOのガイドラインが発行されたのち、提案内容の整合化を行うこととなった。	CD照会終了 2025.02.28	—
SC 3	ISO/CD TR 25032	Ships and marine technology — Piping and machinery — Roadmap for eco-friendly ship standards	船舶及び海洋技術 — 配管及び機械 — 環境に優しい船舶基準のロードマップ	配管及び機械分野に於ける、環境に優しい船舶基準のロードマップを取り纏めたもの。【韓国主導】	CD照会終了段階として登録 2024.08.20	
SC 3	ISO/AWI 25074	Ships and marine technology — Mobile emergency unloading pump system — Technical requirements	船舶及び海洋技術－移動式緊急荷降ろしポンプシステム — 技術要件	移動式緊急荷降ろしポンプシステムの構成、インターフェース、技術要件、および試験の受入れについて取りまとめたもの。浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO)や石油化学船のような海洋エンジニアリング設備の移動式緊急荷降ろしポンプシステムの設計、試験受入れに適用できる。【中国主導】	NP投票承認 2024.04.10	—
SC 3	ISO 28520:2009	Ships and marine technology — Lubricating oil systems — Guidance for grades of cleanliness and flushing	船舶及び海洋技術－潤滑油システム－清潔度および洗浄度のグレードに関するガイダンス	本規格は、潤滑油システムの清潔度および清浄度の等級付けのガイダンスについて取り纏めたもの。洗浄プロセスの目的は、取付部分の汚れを取り除き、配管とシステム全体が適切に洗浄されていることを確認することとしている。	2009.02.15	—
SC 3	ISO 28521:2009	Ships and marine technology — Hydraulic oil systems — Guidance for grades of cleanliness and flushing	船舶及び海洋技術－油圧システム－清潔度および洗浄度のグレードに関するガイダンス	本規格は、油圧油管システムの配管の清潔度および洗浄度レベルを取り纏めたもの。油圧システムのトラブルのない操作には、油圧オイル管システムの配管やコンポーネントの洗浄が不可欠であるため、附属部品を備えた油圧システムの特定部品の洗浄を実際に行うための方法と設備の要件を記載している。洗浄プロセスの目的は、取付部分の汚れを取り除き、配管および油圧システムが適切に洗浄されていることを確認することとしている。	2009.06.01	—
SC 3	ISO 28522:2009	Ships and marine technology -- Hydraulic oil systems -- Guidance for assembly and flushing	船舶及び海洋技術－油圧系統－組立及びフラッシングに関する手引き	油圧系統の管及び構成部品が適正に組み立てられ試験されることを確保するため、油圧系統の組立及びフラッシングに関する手引きを取り纏めたもの。	2009.02.15.	—
SC 3	ISO 28523:2009	Ships and marine technology -- Lubricating and hydraulic oil systems -- Guidance for sampling to determine cleanliness and particle contamination	船舶及び海洋技術－潤滑油・油圧系統－清潔度及び粒子汚染を決定するためのサンプリングに関する手引き	潤滑油系統及び油圧系統の動的サンプリング及び静的サンプリング採取法について取り纏めたもの。	2009.02.15.	—

SC 3	IEC/IEEE 80005-1:2019	Utility connections in port - Part 1: High Voltage Shore Connection (HVSC) Systems - General requirements	陸電装置－第1部:高圧陸上電源接続システム－ 般要件	陸上から船に電力を供給するための陸上及び船上の高圧陸上電源システムに関する要件を取りまとめたもの。【ノルウェー主導】	2019.03	—
SC 3	IEC/IEEE 80005-1:2019/Amd1:2022	Utility connections in port - Part 1: High Voltage Shore Connection (HVSC) Systems - General requirements -- Amendment 1	陸電装置－第1部:高圧陸上電源接続システム－ 般要件(追補)	2019年版のAnnexC(クルーズ船)の図4Iにおいて、ピン配置が変更(第1版(2012年版)と第2版(2019年版)では、L1とL2の位置が逆)になっており、これを是正するため追補を制定させることになったもの。この変更に伴い、関連項目(5.1項、5.2項、7.3.4項等)にも修正を加えている。【ノルウェー主導】	2022.02	—
SC 3	IEC/IEEE 80005-1:2019/Amd2:2023	Utility connections in port - Part 1: High Voltage Shore Connection (HVSC) Systems - General requirements -- Amendment 2	陸電装置－第1部:高圧陸上電源接続システム－ 般要件(追補2)	自動車運搬船(PCC)用新附属書の作成を目的とした追補。【ノルウェー主導】	2023.08	—
SC 3	IEC/IEEE 80005-2:2016	Utility connections in port - Part 2: High and low voltage shore connection systems - Data communication for monitoring and control	陸電装置－第2部:高圧及び低圧陸上電源接続システム－監視及び制御のためのデータコミュニケーション	陸船間のコミュニケーション及びデータ送信を行うための通信インターフェイスの仕様を取りまとめたもの。【ノルウェー主導】	2015.06.15	—
SC 3	IEC/IEEE DIS 80005-3.2	Utility connections in port - Part 3: Low Voltage Shore Connection (LVSC) Systems - General requirements	陸電装置－第3部:低圧陸上電源接続システム－ 般要件	陸上から船に電力を供給するための陸上及び船上の低圧陸上電源システムに関する要件を取りまとめたもの。【ノルウェー主導】 2014年5月:NP承認。 2015年10月9日:CD投票了。IEC/IEEE 80005-1の審議を優先するため、審議を中断。	2ndDIS投票承認 2024.03.26	—
SC 3	IEC/PAS 80005-3:2014	Edition 1.0 (2014-08-25) Utility connections in port - Part 3: Low Voltage Shore Connection (LVSC) Systems - General requirements	陸電装置－第3部:低圧陸上電源接続システム－ 般要件(公開仕様書)	陸上から船に電力を供給するための陸上及び船上の低圧陸上電源システムに関する要件を取りまとめたもの。	2014.08	—